

# 「令和4年度エビデンスを創出する ための調査委託事業のうちロジック モデルのブラッシュアップ等支援」 事業実施報告書

2023年2月

株式会社富士通総研



## 1. 事業概要

- ① 目的
- ② 事業内容
- ③ スケジュール

## 2. 事業結果

- ① ロジックモデルの点検、点検結果の提出及び改善点の提示等
- ② ロジックモデル作成上の共通の課題及び優れている点の抽出、事業類型ごとの留意点と改善方策の提示
- ③ 現状・課題を示すデータ及びアウトカムを測定するためのデータの改善案の提示
- ④ ワークショップ形式等の研修等の実施
- ⑤ ロジックモデル作成や様式に関する相談対応

- 我が国の経済社会構造が急速に変化する中、限られた資源を有効に活用し、国民により信頼される行政を展開するためには、政策部門が、統計等を積極的に利用して、エビデンスに基づく政策立案（E B P M : Evidence-based Policy Making）を推進する必要がある。
- このため、農林水産省では、令和3年度において、令和4年度予算要求に際し、一定金額以上等の予算事業について、現状・課題、政策手段、政策目的達成計画及び政策効果の因果関係を簡潔にまとめた「ロジックモデル」の作成し点検を行ったところ、課題を裏付けるデータの記載が十分でない場合がある、アウトカムの記載が具体的でなく抽象的な場合がある、アウトプットとアウトカムの因果関係が明確でない場合がある等の課題があったことから、本事業において、外部の専門的知見を活用し、ロジックモデルの点検とブラッシュアップ（改善）の提案を実施することにより、E B P Mに関する知見を組織内部に蓄積することを目的とする。

- (1) ロジックモデルの点検、点検結果の提出及び改善点の提示等
  - 令和4年度EBPMの実践的取組対象として農林水産省の各政策・事業を所管している課（政策担当課）が作成したロジックモデル（約120事業）について、ロジックモデルの「点検の視点」に基づき点検し、点検結果及び改善点を「ロジックモデル点検シート」に取りまとめた。
- (2) ロジックモデル作成上の共通の課題及び優れている点の抽出、事業類型ごとの留意点と改善方策の提示
  - (1)の結果を踏まえ、農林水産省におけるロジックモデル作成に当たっての共通する課題及び優れている点を抽出し、事業類型ごとの留意点や改善例を取りまとめた。
- (3) 現状・課題を示すデータ及びアウトカムを測定するためのデータの改善案の提示
  - (1)の結果を踏まえ、現状・課題を示すデータに関する傾向を分析するとともに、「課題設定補助シート」において改善策について提案した。
- (4) ワークショップ形式等の研修の実施
  - 農林水産省職員を対象に、ロジックモデルの作成意義・記載内容・改善の方向や、事業の効果分析を内容とする座学及びワークショップ形式の研修を2回実施した。
- (5) ロジックモデル作成や様式に関する相談対応
  - ロジックモデル作成や様式に関する相談、令和5年度以降のロジックモデル作成に向けた相談等の対応を行った。

### ③スケジュール

| 業務工程                                               | 2022年   |                     |    |        |    |    |     |          |                      |    | 2023年 |  |
|----------------------------------------------------|---------|---------------------|----|--------|----|----|-----|----------|----------------------|----|-------|--|
|                                                    | 4月      | 5月                  | 6月 | 7月     | 8月 | 9月 | 10月 | 11月      | 12月                  | 1月 | 2月    |  |
| (1) ロジックモデルの点検、点検結果の提出及び改善点の提示                     | 点検方針の確認 | ロジックモデルの点検          |    |        |    |    |     |          |                      |    |       |  |
| (2) ロジックモデル作成上の共通の課題及び優れている点の抽出、事業類型ごとの留意点と改善方策の提示 |         |                     |    | 報告書の作成 |    |    |     |          |                      |    |       |  |
| (3) 現状・課題を示すデータ及びアウトカムを測定するためのデータの改善案の提示           |         | 課題設定補助シートを用いた改善案の提示 |    | 報告書の作成 |    |    |     |          |                      |    |       |  |
| (4) ワークショップ研修等の実施                                  |         |                     |    |        |    |    |     | 研修企画資料作成 | 研修実施<br>1/10<br>1/17 |    |       |  |
| (5) ロジックモデル作成や様式に関する相談対応                           |         |                     |    |        |    |    |     | 相談対応     |                      |    |       |  |

## 2. 事業結果

### ①ロジックモデルの点検、点検結果の提出及び改善点の提示

- 予めロジックモデルの「点検の視点」を整理した。
- 約120事業のロジックモデルについて、「点検の視点」に基づき点検し、点検結果及び改善点を「ロジックモデル点検シート」（図表1）に取りまとめた。
- 一部の事業については、政策担当課と意見交換（オンライン）を実施し、ロジックモデルの改善提案を行った。

図表1 ロジックモデル点検シート

| 事業等名                |                                                                                                                  | 担当課                                                               |      |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|------|
| 観点                  | 点検の視点                                                                                                            | 点検結果                                                              | コメント |
| ア) 現状・課題に関する視点      | 【ア-1】現状を踏まえて課題が明確になっているか。                                                                                        |                                                                   |      |
|                     | 【ア-2】課題の背景要因がデータ等に基づき定量的に記載されているか。                                                                               |                                                                   |      |
| イ) 政策手段に関する視点       | 【イ-1】政策目標を取り巻く状況（課題の背景要因）が明確に記載されているか。                                                                           |                                                                   |      |
|                     | 【イ-2】当該事業を実施することで、どのように課題を解決するかという点が記載されているか。（現状・課題、アクティビティ、アウトプットを中心に、事業の必要性（課題背景と政策手段がマッチしているか）が分かるようになっているか）。 |                                                                   |      |
| ウ) 政策の狙い・つながりに関する視点 | ロジックの整合性                                                                                                         | 【ウ】全体を通じて、つながりに飛躍がないか                                             |      |
|                     | インプット                                                                                                            | 【ウ-1】事業費が記載されているか（継続事業の場合は過去の実績が記載されているか）。                        |      |
|                     | アクティビティ                                                                                                          | 【ウ-2】政策手段の内容が具体的に記載されているか（誰に対して何を行うのか）。                           |      |
|                     | アウトプット                                                                                                           | 【ウ-3】事業を実施した直接の結果となっているか（アクティビティを実施した結果として、事業の対象者の行動状態が記載されているか）。 |      |
|                     |                                                                                                                  | 【ウ-4】アウトプット指標として、事業の適切な実施状況をモニタリングするための指標が設定されているか。               |      |
|                     | アウトカム（短期）                                                                                                        | 【ウ-5】事業の対象者に生じた効果（事業により事業の対象者を望ましい方向に変化させること）となっているか。             |      |
|                     |                                                                                                                  | 【ウ-6】アウトプットとのつながりが飛躍していないか（アウトプットから短期間に生じる効果となっているか）。             |      |
|                     |                                                                                                                  | 【ウ-7】アウトカム（短期）指標として、対象者に生じた効果を測定する指標が設定されているか。                    |      |
|                     | アウトカム（中・長期）                                                                                                      | 【ウ-8】事業の対象者に生じた効果又は他への波及効果となっているか（アウトカムが段階的に設定されているか）。            |      |
|                     |                                                                                                                  | 【ウ-9】アウトカム（短期）とのつながりが飛躍していないか。                                    |      |
|                     | インパクト                                                                                                            | 【ウ-10】アウトカム（中・長期）指標として、対象者に生じた効果又は他への波及効果を測定する指標が設定されているか。        |      |
|                     |                                                                                                                  | 【ウ-11】当該事業の成果として、実現したい姿が記載されているか。                                 |      |
|                     |                                                                                                                  | 【ウ-12】アウトカムとのつながりが飛躍していないか。                                       |      |
| 総合コメント              |                                                                                                                  |                                                                   |      |

## ② ロジックモデル作成上の共通の課題及び優れている点の抽出、事業類型ごとの留意点と改善方策の提示

- ロジックモデルの点検結果を踏まえ、農林水産省におけるロジックモデルの「点検の視点」ごとの対応状況を検証し、ロジックモデル作成に当たっての共通する課題及び優れている点を抽出した。
- 事業類型ごとにロジックモデル作成上の留意点を取りまとめるとともに、具体的なロジックモデルを示しながら、課題や留意点、ロジックモデルの改善例を示した。（図表2）

図表2 改善方策の提示イメージ



### ③現状・課題を示すデータ及びアウトカムを測定するためのデータの改善案の提示

- ロジックモデルの点検結果を踏まえ、現状・課題を示すデータに関する傾向を分析するとともに、「課題設定補助シート」において改善策について提案した。（図表3）
- また、アウトカムを測定するためのデータの改善案については、前掲の図表1において、アウトカム指標の改善案を提案した。

図表3 課題設定補助シート

| 項目  |            | FRI (案) |
|-----|------------|---------|
| 目標  | 対象者        |         |
|     | 目指すべき状態    |         |
| 現状  | 対象者の状態     |         |
| 課題  |            |         |
| データ | 課題状態を示すデータ |         |



## ④ワークショップ形式等の研修の実施

## ⑤ロジックモデル作成や様式に関する相談対応

- 農林水産省職員を対象に、ロジックモデルの作成意義・記載内容・改善の方向や、事業の効果分析を内容とする座学及びワークショップ形式の研修を2回実施した。（図表4）

図表4 研修の内容

| 研修テーマ           | 目的                                                                                                                                                             |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| EBPMの概要         | <ul style="list-style-type: none"><li>✓ EBPMの定義とEBPMにより目指す姿を把握する</li><li>✓ また、政策の質の向上やエビデンスなどEBPM推進において重要な概念を把握する</li><li>✓ 農林水産省等におけるEBPMの推進状況を把握する</li></ul> |
| ロジックモデルの作成について  | <ul style="list-style-type: none"><li>✓ EBPM推進において重要なツールであるロジックモデルの定義や位置づけ、活用・構築方法を把握する</li><li>✓ 農林水産省におけるロジックモデル構築時の留意点等を把握する</li></ul>                      |
| 効果検証を実施することの重要性 | <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 効果検証手法の概要について把握する</li><li>✓ 令和3年度の実証的共同研究の「農山漁村振興交付金」を事例として効果検証方法について把握する</li></ul>                                    |
| ワークショップ         | <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 事業実施から政策目標実現までのステップの整理の演習を実施してロジックモデル構築方法を習得する</li></ul>                                                               |

- ロジックモデル作成や様式に関する相談、令和5年度以降のロジックモデル作成に向けた相談等の対応を行った。